



2024年(令和6年)

5月21日

火曜日

大安

発行所
北日本新聞社
富山市安住町2番14号
〒930-0094 電話076-445-3300
©北日本新聞社 2024

切断機 開口幅を拡大

リサイクル用 新機種

リサイクル機械メーカーのエムダイヤ(滑川市中村、森弘吉社長)は、主力の切断機シリーズの新機種「エコカッター1500」を6月に発売する。開口幅が従来機より大幅に拡大し、処理能力が向上した。価格は1台2500万円から。初年度は5台の販売を目指す。(近江龍一郎)

大型廃棄物も処理

エコカッターは、光ファイバーケーブルなどに使用されているアラミド繊維などの難素材を連続かつ大量に切断できるのが特徴。切

断面がつぶれにくいため、機械を切断した場合、中身の部品や部材の取り出しが容易になる。

主力機「900」の開口

エムダイヤ



幅が900mmなのに対し、新機種は1500mm。開口幅が広がったことで、これまで対応できなかったベットのマットレスや畳、太陽光発電パネルといった大型廃棄物の処理も可能になった。ごみの容積を減少させる減容化につながることで、同社は新たな顧客獲得を目指す。

また22日から東京ビッグサイトで開催される「NEW環境展」に、顧客から引き取った自社製品の部品を活用したアップサイクル品の「エコカッター1500」を出展する。同社は2022年に、使用済みの自社製リサイクル機械を修繕して再生するアップサイクル事業に進出しており、展示を通して技術力をアピールする。

NEW環境展に出展するアップサイクル品の「エコカッター1500」
〇滑川市中村